

〈東文研・ASNET共催特別セミナー〉

講演会：近代国家としての 日本とアイヌ民族



アイヌ古式舞踊



アイヌ民族は、日本列島北部周辺、とりわけ北海道に先住し、独自の言語、宗教や文化の独自性を有する先住民族です。2008(平成20)年に、国会と政府もこのことを認めました。しかし、アイヌ民族の過去や現在は、日本国民にあまり知られていないように思われます。そこで、日本が近代国家となった明治以降を中心とするアイヌ民族の過去、アイヌ民族をめぐる政治の現在を簡単にご紹介します。

◆ **日時**： 2017年12月15日(金) 14:00-15:30

◆ **報告者**： 落合研一氏(北海道大学アイヌ・先住民研究センター・准教授)

◆ **会場**： 東京大学 東洋文化研究所 1F ロビー

※本講演会はASNETスタディツアーの一環として開催されます。

※報告は日本語で行われます。



東京大学
日本・アジアに関する教育研究ネット
ワーク
Network for Education and Research on Asia

